

* 太枠線内について記入してください。

[別紙様式第3] (第8条関係)

(申請者・指定業者記入欄)

課長	課員

水道(簡易水道)使用水量再認定申請書

(あて先) 提出日 年 月 日
小松市長

〒

住所

使用者氏名

印

TEL

今般、漏水で給水管を修理しましたが、漏水箇所が発見困難であったため、小松市水道条例第32条第2号の規定により水道使用水量再認定について申請いたします。

還付先

銀行 金庫 農協	店 支店 出張所	種目	口座番号										
		普通 当座											
フリガナ													
口座名義人													

年 月 日 に当方にて本件の漏水修理を行いました。
修理完了後、量水器にて漏水がないことを確認しましたので報告します。

〒

住所

指定業者名

印

TEL

口径		メーター番号	
水栓所在地	小松市		
漏水箇所			
漏水原因			

*漏水箇所の写真を必ず添付してください(修理前後で各一枚)

(水道事業記入欄)

再認定期間について

再認定日	年 月 日
お客様番号	
検針基準日	日
再認定期間	ヶ月分

認定者

再認定の対象となる月	①検針水量	②基準水量	(①-②)÷2	再認定後の 使用水量	下水道 再認定水量
年 月分	m3	m3	m3	m3	m3
年 月分	m3	m3	m3	m3	m3
年 月分	m3	m3	m3	m3	m3
年 月分	m3	m3	m3	m3	m3
年 月分	m3	m3	m3	m3	m3
年 月分	m3	m3	m3	m3	m3

* 基準水量は、(修理後1ヶ月間 ・ 前年同月 ・ 過去の同時期)を採用する。
なお、過去の同時期の水量は 年 月分 ~ 年 月分の水量を採用する。
* 使用水量再認定後の使用水量は、(① - ②) ÷ 2 + ② により算出。(端数切り上)

チェック項目	状況
前年同月に水道を使用していたか	
世帯構成、生活形態の変化があったか	
(自営業の場合)水の使用方法に変更はないか	
その他特記事項	
漏水箇所が給湯器もしくはそれ以後の給湯管であるか	

備考

年 月 日

(あて先)
小松市長

住所
使用者名 印
(お客様番号 :)

水道(簡易水道)使用水量再認定に関する念書

本件につきまして、下記のとおりお約束しますので、小松市水道条例第32条第2項の規定にもとづき、水道使用量の再認定をよろしくお願ひいたします。

1、水栓所在地

2、漏水箇所(漏水原因)について

3、漏水の発見について

4、今後の管理について

以上のことをお約束するとともに、同様の原因による申請は今回かぎりとしします。